



## 能登半島地震 災害支援ボランティア 1日目

夏休み直前の連休に元気アップコーディネーターの1人が昨年度ジェンダー目線の防災を学んだ「大阪男女いきいき財団」の方々や同期生と一緒に能登地震の被災地に災害ボランティアとして参加してきました。

渋滞に巻き込まれ予定を変更して、まず大規模な液状化現象のあった石川県内灘町を視察することになりました。

震災から半年以上経っているのにまだ下水道がちゃんと稼働しておらず集落のあちこちに仮設トイレが設置されており、アスファルトも主要な場所以外はめくれ上がったまま、電柱も斜めに傾いたまま...地震が起こった時から時間が止まった状態でした。

その後七尾市に移動し翌日の炊き出し用の食材を避難所である矢田郷コミュニティセンターに搬入し、その館長さんや職員の方に発災直後から現在までのお話を聞きました。



仮設トイレ



アスファルトがめくれ上がり通行が困難な道路

液状化現象により  
住むことができ  
なくなった家

